

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	せかいのかたち		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 24日		～ 2026年 2月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 21日		～ 2026年 2月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し個別支援計画が作成し、それに沿った支援を行う。	個別支援計画作成時には、保護者様の聞き取りをこまめに実施し、職員間への共有を行っている。 また、支援進度はデジタルでのサービス提供記録で共有を行っている。	今後も継続的にこまめな共有を行いながら、よりよい意見ができるように会議などを行っていく。
2	専門的な知識を持った人材による支援を行い、その内容のフィードバックを行う。	言語聴覚士や作業療法士、5年以上の経験のある保育士による支援を行っている。また、終礼で内容を共有し、行っている内容や進捗の確認を行い、より専門的な支援に活かせるように共有を行っている。	今後も継続的に毎日支援内容の共有を行いながら、専門職の意見を取り入れながら支援を行っていく。 また、様々な専門職を雇用し、支援の幅の拡充ができればと考える。
3	利用開始時の運営規程、支援プログラム、利用者負担等や児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明、個人情報の取扱いといった利用に関する説明。	契約時に時間をとり、しっかりと説明を行い。契約時に不明な点が生じないようにしている。 また、後日不明な点があった場合にも説明を行っている	これまで児童発達をしたことがない方には、聞いたことのない事柄もあると思うので不安にならないようにご丁寧に説明できればと考える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間に対する配慮(換気及び音について)	建物の構造上、音が広がりやすい特徴や出入口が一箇所であることから、換気方法に工夫が必要な面がある。 また、個別の部屋は設けているものの、高い遮音性を備えた空間はなく、ゆっくり休息できる環境づくりについては今後さらに検討していく余地がある。	今後は換気扇や空気清浄機を活用して少しでも室内の換気を行えるようにしていく。 音については、部屋の追加等は難しいので吸音材などを用いて音を少しでも響かないような取り組みをしていくことができると考える。
2	地域交流・地域連携について	現在のところ要望などが少ないこともあり、地域の小学校との連携や地域の幼稚園・保育園との交流はほとんど行っていない。	現在、地域交流イベントを行い始めたところなので、このようなイベントや講演会を行うことで地域との交流を行う。 地域連携については、継続的に連携できる体制は維持しながら、要望があった際にはすぐに連携ができるように準備しておく。
3	非常災害訓練・安全管理の周知	非常災害訓練は2カ月に一度行っており、安全管理についても研修と委員会を行っているが、それに対して対外的に報告や掲載を行っているわけではない。 そのため、周知が足りておらず、保護者様に伝わっていないのではないかと考えられる。	現在のところ、非常災害訓練や安全管理に関する研修を行った際にその様子などを事業所内の掲示物やSNSを活用することで、保護者への周知を行っていく。

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 せかいのかたち 公表日 2026年3月6日

利用児童数 24人

回収数 19人

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1	0	0	・平日はわかりませんが、土曜日は年長の子が多く昼間静かにするような指導がされていないのか騒がしいらしく、子どもが昼寝ができず帰宅し、お風呂場やリビングで17:30~18:00には寝てしまい睡眠のリズムが崩れてしまい、無理やり起こして癇癪につながりまして。他児の特性もあり難しいことかも仕方ないとは思ってはいるが困っている。また、タバコを吸う方がおられ、勤務時間外であれば良いと思うのですが、勤務中は休憩時間でもその後子どもに接するのであれば吸っていただきたいくない。の不安がある。	・異年齢でのお預かりを行っているので月齢によって体力の違いがあり、小学校就学に向けお昼寝をせず活動してもらうお子さまもいらっしゃるで難しい部分もございませう。今後可能な限りお昼寝などができるように努めさせていただきます。
適切な 支援 の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	8	3	1	7		
保 護 者 等 からの 評価	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1	0	0		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	18	1	0	0	・連絡帳に細かく書いてもらえているのでありがたい。 ・個別支援やグループワークの内容は毎回連絡帳に書かれておりわかりやすいですが、それ以外の時間は何をしているのかのお話が少なく、お迎えの際も子どもの受け渡しのみが多いです。 また、ケガをした時などに情報共有がないことがあり、帰宅後に気付くことなどがある。	・個別療育の内容やその他の内容など、今後もできる限り丁寧に記載させていただきます ・できる限りの職員間の共有などは行っておりますがこちらの配慮が足りておらず申し訳ありませんでした。今後は送迎時の園から共有事項の強化や職員間及び保護者様への情報共有に努めさせていただきます。

護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	9	0	0	10		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	2	・とても楽しんでおり、大好きな様子が伝わります。 ・本人から聞けないので楽しみなのかかわからないです。	・今後も楽しんで通っていただけるように楽しい支援や集団活動に取り組みさせていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0	・大満足で感謝の気持ちでいっぱいです。 ・概ね満足しているが土曜日のお迎えがなく、平日終了後の送りがないのでお迎えに行くのが距離的に体力的にしんどいです。また、終了が17:00なので、できる仕事に限られてくるので17:30ならと思うことがある、送りがないので16時に仕事を終えないといけません。送迎があるととても助かると思います。	・今後も満足していただけるよう、職員一同尽力させていただきます。 ・送迎につきましては、現在のところ基本的には保育所・幼稚園のみの送迎となっております。今回のご意見から今後送迎範囲の拡充も検討させていただきます。営業時間につきましてはご意見をいただいた部分に関しては検討はさせていただきます。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		せかいのかたち		公表日			2026年3月6日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3		人員配置は適切であるが、保育と療育の両面をしっかりサポートしていくため、時間帯や児童の状況によって厳しく感じる時があるので、新しい職員の採用等を進めています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3		音や声が響きやすい。換気が行いづらい。収納スペースが少ない。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		第三者による外部評価は行っていないため、今後検討が必要。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	社内研修がある。	社内研修があるが外部研修にも参加できれば良い。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		体制は整えているが意向がほとんどないので行っていない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		併行利用や移行に向けた支援をインクルージョン推進の観点から支援を行っているが、その際の園との情報共有の機会はとれていない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3		就学移行時の保護者からの要望が少ない。体制は整えているが意向がほとんどないので行っていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	園などとの交流はほとんどないが、同地域の系列事業所と交流を行ったりしている。	園などの交流はできていない。ただ地域交流の為にオープンなイベントなどを行っている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3			
40	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0		イベントの際などには地域の掲示板などにチラシを貼ることができればと考える。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0			